

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. 子どもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2012年9月号 6年生最後の闘い



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

「共有からの関係作り」

田口 温子 (リーダーOG: リスリーダー)

お久しぶりです。卒業してからももう3年半が経ちました。現在私は児童デイサービスで働き、子どもたちと元気に毎日を過ごしています。

少し私自身の話をさせてください。仕事を始めた頃大変だったことが子どもとの関係づくりです。注意する時ただ言葉で伝えるだけであれば簡単ですが、その子と関係がある程度できていなければ言うことを聞いてもらえないこともあります。子どもたちに何を伝えたいのか、自分に何が足りないのか思い悩み、余裕を持ってない状況が続きました。そんな日々の中でも、子どもたちと思いっきりはしゃいで遊び「楽しい」という気持ちを共有できた時、子どもの成長を感じられる時に、やはり自分は子どもと関わることが好きなのだを再確認しました。毎日の生活を一緒に過ごすことで自然と関係もできていくものですが、同じ思いや体験を共有することでぐっと距離が縮まるのを実感し、

そんな経験を重ねながら少しずつ子どもとの関係も深まっていた気がします。

YMCAの活動はまさにそのような瞬間がたくさん溢れている空間なのだ今改めて感じます。初めて活動に参加する子は特に、いつもとは違った環境や知らない人たちに囲まれて不安でいっぱいだと思います。でも、何気ない遊びの中で楽しみを共有できた時や同じことで笑った時、同じものを見て感動して距離が縮まった時。そんな瞬間がたくさんあったなあと思えます。そして、活動に参加した子どもたちにとっても何かを感じる経験になっていたらいいなあと思えます。それは楽しい経験ばかりではなく、時には悔しい経験だったかもしれないけれど、そんな経験がいつか子どもたちの成長のどこかで、そっと背中を押してくれるような力になってくれたらと、北の大地から願っています。

盛岡YMCAベスト・キッズ かもめセーラーカップ

盛岡YMCAベストキッズが9月1日～9月9日に八幡平市で行われた第39回かもめの玉子セーラーカップに参加してきました。今大会は6年生の最後の大会という大会で参加した全員が気持ちを込めてプレーしていました。

初日は緊張した面持ちだった選手たちも試合を重ねていくごとに段々とリラックスした様子で試合を出来てきました。しかし結果は2勝2敗でグループ3位ということで予選突破は出来ませんでした。大会を通して参加した全員が悔しさを味わい、自分たちの練習での甘さ、当たり前前を当たり前にする難しさを痛感しました。そして6年生は中学生に向け、5年生以下は6年生が抜けた新チームとなってこれからそれぞれの目標に向かって活動していきます。

ベスト・キッズ監督 盛岡大学1年 向平 悟(ジーパンリーダー)



僕たちベストキッズは、YMCAの代表として戦ってきました。「声を出す」、「相手より走る」、「相手より先にボールをさわる」、「1対1で負けない」、「イメージをする」この六つを中心にサッカーを楽しんできました。



この大会ではもちろん勝ち負けにもこだわって、1人1人の成果や課題を確かめることが出来ました。そして何より、このメンバーでサッカーが出来たこと、相手と自分達が大好きなサッカーで本気でぶつかり合えたことをうれしく思いました。6年生はジュニアユース、5年生、4年生などはベスト・キッズと、一つのチームとして頑張りたいです。

ベスト・キッズ前キャプテン 6年 阿部 春陽

☆ リーダー紹介 その⑤ ☆

こんにちは～♪今回は私、とうふこと盛岡大学短期大学部1年の種市祥子(たねいち しょうこ)がリーダー紹介を担当させていただきます☆

今回紹介するのは「つぶ貝リーダー」こと小野寺百恵(おのでら ももえ)です。彼女は盛岡大学児童教育学科の1年生です。中学・高校とソフトボール部のピッチャーとして活躍し、今でも盛大ソフト部としてソフトをこよなく愛し続けています♥

好きなことは山菜採り、山登り、大自然の中で遊ぶこと。虫や魚たちと滝沢村でのびのび育った、時代の山ガールです!そんな百恵ちゃんが大学デビューし、真っ黒だった肌も白くなり、最近の女の子らしさに私はとてもビックリしています。。。そしてそして忘れちゃいけないのが百恵's出っ歯(笑)いつか今流行りの八重歯ブームならぬ出っ歯ブームが来ることを信じ続けています!その宝石から繰り出される輝かしいスマイルと特有の面白さで周りを明るくしてくれます(^o^)
どんな場や人でも周りに流されず、自分の意見を伝えることが出来ること。何事でも諦めずまっすぐに突き進むことが出来ること。それがつぶ貝の良いところであり、私が尊敬しているところです。誰とでも仲良くなれますよ!

おもしろい事が大好きなので、皆さんもぜひ、つぶ貝リーダーとお話してみてくださいね(^o^)
以上、つぶ貝の紹介でした。See you (・v・)☆

次回はつぶ貝からとうふの紹介をしてもらおうよ♪おたのしみに!

私、とうふがつぶ貝を紹介します!!



わたしがつぶ貝です!



IBC祭り

9月15日(土)・16日(日)、盛岡競馬場オーロパークにてIBC祭りが行われました。そこに、宮古魚菜市场青年部の方々が出店。2日間で盛岡YMCAから計7名がお手伝いへ向かいました。昨年のIBC祭りで初めてお手伝いをしてから様々なイベントで手伝いに行くようになり、みなさんお馴染みの面々です。今回も定番の海鮮焼きそばをはじめ、焼き物系は大ぶりのホタテ、ぶりぶりのイカ、贅沢にもアワビ!と海の幸が満載です!!「ホタテ大きいねえ!」と驚いていかれるお客さんもたくさんいました。盛岡YMCAのリーダーの若い力と青年部の方の威勢の良さで大盛況の末、見事に全商品完売☆多くの方が宮古の商品を買い求めてくれたことに感謝致します。

そして、この土日は盛岡の9月とは思えないほどの日差しで立っているだけでも暑いのに、焼きそばや海産物をひたすら焼く青年部の方々は暑さとの戦いでした。本当にお疲れさまでした!

また、今度はたくさんの方に宮古にお越しいただき、その場で宮古の味を堪能していただけたらと思います。そして、宮古をはじめ、被災地の復興を心より願っています。

(家村)

お手伝い参加者
小野 華奈、種市 祥子、小野 寺 百恵、澤口 栞
ありがとうございました!



○未だ絶えぬニーズ

秋の生さんまが美味しい季節となりました。宮古も少しずつ秋めいた陽気になってきました。しかし9月に入っても宮古は残暑が厳しく、最高気温は30度を超える日が続いております。盛岡も例年に比べて暑い日が多いでしょうが、沿岸部の宮古がこれだけ暑いのはとても珍しいことだと地元の方も言っています。このままもうしばらく暑い日が続いて、短い秋を迎えたと思ったら、あっという間に冬支度となるのかもしれないですね。

さて、宮古ボランティアセンターは、9月中旬で夏休みが終了し、現在では学生のグループの来訪はとりあえずひと段落がつかしました。その中で最後のグループとなる東京の立教大学YMC Aが2つのグループに分かれて、8月下旬より9月の中旬にかけて、それぞれ2週に渡って宮古に来訪されました。

彼らは合宿と銘打っての来訪となりましたが、宮古ボランティアセンターでは、最近では珍しく幾つかワークの機会が与えられました。

最近ニーズが入ったのは、東日本大震災の3月11日に津波によって被災し、そのままの状態になっている、近所の酒屋さんの店舗でした。お店を元通りにして再開を目指すお手伝いをさせていただいたのですが、へドロをかぶったままの食器や家具、障子や扉などの作業を一つひとつ丁寧に高圧洗浄機で洗い、拭き掃除をしていきました。

その他、被災して復旧してから再起を目指してきた、いかせんべいの工場における職業体験や、宮古湾に近い金浜地区のあるお宅の草刈などをさせていただきました。

昨年もこちらのお宅で作業を行ったのですが、へドロの養分により雑草の生育が早いらしく、この夏が終わるまで伸び放題だったそうです。

震災から1年と半年が経ちましたが、件数は少なくなってきているものの、以前作業をしたところからも継続的なニーズがあり、今後も引き続き作業が入ってくることもあるかもしれません。



久々に高圧洗浄機を使う作業をしました。←



→ 今では少なくなったへドロの掃除。



→ 金浜地区の草刈り作業



↑ 火にかけた鍋にカレーの具材を入れます。



↑ 川がプール状態



→ 具材の皮むきと野菜切り



← みんなで作って食べたカレーはおいしかったです♪

○宮古アドベンチャークラブ

9月の宮古アドベンチャークラブは、宮古市野外活動センターに出かけて、野外炊飯と水遊びを行いました。津波で被災した地区の小中学生を対象に募集しているため、水に関するプログラムの実施については、かなり慎重にすすめてまいりました。最初は水遊びのプログラムに対してどれだけ子どもたちが集まるのかとても不安でしたが、いざ募集を開始すると、日帰りの野外活動クラブとしては今迄に集まったことのない人数の申し込みがありました。今回の参加者は23名、みんな水遊びを楽しみにしていました。みんなで作ったカレーも大好評でした。これからもたくさん子どもたちに参加していただきたいと思います。

○イベント

また、9月は地域のお祭りが多く実施される月でした。

9日(日)のみやこわくわく祭り、15日(土)・16日(日)のみやこ秋まつり、また同じく15日(土)・16日(日)に、今回は盛岡YMC Aのリーダーの皆さんによる、IBC祭りへ出店した魚菜市場のお手伝いなど、地域イベントが目白押しでした。

宮古ボランティアセンターが出店した、9日(日)のわくわく祭りでは、富士宮やきそばを午前中で200食完売し、また15日(土)と16日(日)のみやこ秋まつりに出店したたこやき販売は、2日間合わせて目標の800食を上回る860食ほどの売り上げがありました。

純益の約10万円は全て東日本大震災復興支援募金として寄付させていただきます。

お祭りや地域復興支援のためのイベントには、YMC Aの名前を地域に知らしめる手段の一つとして、これからも積極的に参加していきたいと思っています。

宮古ボランティアセンター長 大谷

宮古での活動実績

(8月末日のべ人数)

☆受益者数 40,362人

☆ボランティア数 15,310人

～表紙の写真よ～

8月アドベンチャー 「小川であそぼう！」



9月1日(土)、かもめの玉子セーラーカップ初日。緊張しつつも気合いの入った表情の子どもたち。これまでやってきたことを信じ、自分を信じ、仲間を信じ戦うのみ！この日のじりじりと照りつける太陽のように熱い戦いを見せてくれました。どの子も成長が窺える試合でした。

(家村)

8月アドベンチャー「小川で遊ぼう」では、8月26日(日)に「矢町立自然公園」へ行ってきました！まだまだ夏は終われない、終わらせたくない17名の子ども達と5名のリーダーで自然を満喫してきました。

夢中になって魚やカエルを追いかけ捕まえたり、滝にあたり修行をしたり、泥パックエステをしたり、思いっきり川を楽しんできました。それはそれはもう、川の水の冷たさを忘れてしまうほど！遊びや友達、リーダーとのやり取りを通してなかなかではじける子ども達のキラキラの笑顔や自然の中で見つけたものに興味をしめす真剣な眼差し、時間も身体の疲れも忘れて友達と遊ぶ様子などとても素敵な時間を共有してきました！子ども達にもいつまでも自然の中で遊ぶ楽しさを感じ続けて欲しいなあと思います。

また、みんなで遊ぼうね！

文責：盛岡大学1年
小野寺 百恵
(つぶ貝リーダー)



こぼれ種21
「違って、同じ」
—寛容から始まる平和への道

日本基督教団内丸教会牧師(元日本YMCA同盟 主事) 中原 真澄

最近毎日、幾つかの孤島の帰属を巡り、隣国との間に高まる緊張が報じられています。けれども、切っても切れない関係にあるお隣り同士ですから、平和的に解決して欲しいと誰もが願っていると思います。それにしても、どうして互いの間に領土やメンツといった事柄が入ってくると「ゼロサム」・・・一方が勝てば他方は負け・・・と思うのか。少しも「進歩」しない「国・際」の在り方のため息をつくのは私だけでしょうか。

こと自分に関しては周りを尊重し、謙虚に振る舞う紳士淑女も、家族となると身最真になるのはよく見かけます。立派な社会人がこと「会社！」となると途端に違う人格になる・・・そんな事件が昨年来、度々ニュースとなりました。国となると身最真も更に大きくなるのは、どの国も同じようです。だからこそ私たちは、自分とは異なる立場に立つ人を「寛容」に受け入れ、それぞれの立場・異見を聞き、その上で自ら判断し、意見を表明することが、大人として果たすべき責任でありましょう。

YMCAは普段から、外国籍の人々との交流や意見交換の場を伝統的に大切にしてきました。地域や年齢、性別を越えた活動も大切にしています。それは、自分が「当たり前」と思っている「常識」が、他の人にとっては必ずしもそうではないこと。それでも、違うよりも圧倒的に同じ人間であり、そのことの方がずっと大切であることを実感してもらうためです。「違って、同じ」・・・そのことを知り、互いを尊重していくことを身につけていけば、きっといつか、メンツや縄張りよりもっと大切なことを守るために国を超えて力を合わせる、そんな本当にグローバルで平和な世界が造られていく時代が来るのではないのでしょうか。

ヨハネが言った「先生、お名前を使って悪霊を追い出している者を見ましたが、わたしたちと一緒にあなたに従わないので、やめさせようとしてました」。イエスは言われた「やめさせてはならない。あなたがたに逆らわない者は、あなたがたの味方なのである」(ルカ9章49～50)

10月の予定

☆10月13日(土)
宮古ボランティアセンター
アドベンチャー
(於：区界)

☆10月21日(日)
10月アドベンチャー
「秘密の〇〇〇焼き」
(於：外山森林公園)

☆10月27日(土) 14:00～
大人と子どもの
読みきかせの会
※入場無料
(於：宮古市立重茂小学校)

☆10月28日(日) 14:00～
大人と子どもの
読みきかせの会
※入場無料
(於：宮古市立山口小学校)

☆10月28日(日)
10月サンデースクール
「餃子パーティー★」
(於：おでつて)

感謝

2012年9月26日現在
順不同・敬称略

●東日本大震災
被災地支援募金・献品

茨城YMCA、松尾聡子、山田京子、藤井辰夫、横浜西YMCA、日本キリスト教団つきみの教会、日本キリスト教団浦安教会、日本キリスト教団宮古教会、長谷川牧子、佐々木京子、名古屋恒彦、阿部毛糸店、関スミ子、スワン美容室、佐藤ハナヨ、吉田精肉店、大森桂子、坂下信二、日本基督教団池田五月山教会、立教大学YMCA、大塚友美、清泉YMCA、泉北ワイク、西宮ワイズ、日本基督教団林間つきみ野教会、日本基督教団番町教会、木下悦子、東矢高明、加藤様、藤原様、柴家様

●維持会費

角谷晋次、角谷千代子、竹内一真、千葉代子、花田瞳、小畑孝子、吉崎陽、池田二郎、今松桂子、下坊和幸、熊谷力實、及川彦夫、及川恵、大関靖二、濱塚秋二、田村治之、工藤泰、重石桂司、伊藤克見、伊藤喜代江、川守田浩、工藤直子、名古屋恒彦、水田賢次、千葉代子、阿部靖、北田アユ子、今野聖子、今野健男、清水治彦、岩崎スエ、宮崎幸雄、菊池崇子、伊藤真一郎、南原良哉、小林茂元、朴正浩、長澤博貴、長谷川精一、飯島隆輔、井上修三、井上優子、井上浩太郎

●寄付金

角谷晋次、花田瞳、小畑孝子、吉崎陽、今松桂子、下坊和幸、熊谷力實、及川彦夫、及川恵、伊藤克見、伊藤喜代江、川守田浩、水田賢次、今野聖子、今野健男、伊藤真一郎、朴正浩